

思わず口から出る感嘆詞

アルキメデスの Eureka! とゲームの Bingo!

大西 博人

0. はじめに

感嘆詞は、言語の相違に関係なく思わず口から出てくる人間感情の発露である。本稿では、何かを見つけたときに発する感嘆詞、Eureka! と Bingo! を取り上げる。Eureka! はアルキメデスが「浮力の原理(アルキメデスの原理)」を発見した際に思わず発した感嘆詞に由来している。

アルキメデスについては、2006年8月2日、米スタンフォード大学などの「アルキメデス著作記録の古文書解説」チームが、現在の装置よりも百万倍も強力な最先端のX線放射装置により、羊皮紙の表面に「重ね書き」されていたその下にある、浮力の原理を含めた彼の重要な著作を解説することに成功したというBBCの報道があり、注目を集めている。

以下では、このアルキメデスに由来する感嘆詞 Eureka! とゲームに由来する Bingo! を、筆者が現代人気小説と米週刊ニュース誌より収集し精選した用例を通して、両者の意味合いの違いを検証する。

1. アルキメデスに遡る Eureka

Eureka は、ブリューワー故事成句辞典 (*Brewer's Dictionary of Phrase and Fable*, London: Cassell, 1981) によると、(Gr. *Heureka*, I have found it). An exclamation of delight at having made a discovery; originally that of Archimedes, the Syracusan philosopher, when he discovered how to test the purity of Hiero's crown. ... When the idea flashed across his mind, the philosopher jumped out of the bath exclaiming, "Heureka! Heureka!" and, without waiting to dress himself, ran home to try the experiment. とある。

ロングマン現代英英総合辞典 (*Longman Dictionary of English and Culture*, Longman House: Harlow, 1992) によると、*interj humor used as*

a cry of pleasure at one's success in suddenly discovering the answer to a problem. と記述し、Eureka means "I've found it" in Greek, and when people say it they are conscious of its use by Archimedes, who was in his bath when he suddenly thought of a way of measuring density. と説明を加えている。

本章では、Eureka がアルキメデスの感嘆詞と同様な意味で用いられている用例を検討する。

i メディア英語に現れたアルキメデスの感嘆詞

アルキメデスに起源をもつ感嘆詞 "Eureka!" は、多くがメディア英語においても現れる。この感嘆詞は、今なお「探し求めていたものや事を見つけたとき」発する言葉として引用符付きで用いられている。

次の用例は、地球温暖化現象が進行しているのを特定することはほとんど不可能であるとする発言である。誰かが突然、「わかった、温室化現象がおきている」と言うことなどあり得なく、実際、そのような時点に至るときはすでに手遅れだと述べている。

温室化現象は、徐々に起こっていると言われていたが、今なお明確かつ科学的に実証されておらず、それを断言できれば仮説を証明できたという大発見になるため、Eureka が用いられていると思われる。

① Trying to spot a general warming trend while it's happening is almost impossible, says McElroy: "I really do not believe we're likely to suddenly have someone say, 'Eureka, the greenhouse is here!' If we ever do get to that point, we'd already be in bad shape." — *U.S. News & World Report*, December 13, 1993, p.91 (下線部は筆者による。以下も同じ)

これはメディア報道であるという性格上、発言内の感嘆詞を引用している。この文脈では、Eureka は重みのある事柄に関する感嘆詞となっている。

ii メディア英語で頻繁に現れる eureka moment

Eureka がメディア英語で感嘆詞として引用符付きで用いられることは、誰かの発言を引用する以外報道という性格上、まれである。メディア報道では、画期的な瞬間を表すとき eureka moment が頻繁に用いられている。この表現は eureka に引用符や感嘆符を付け、moment に続けて用いることが多いようである。以下でそれらの用例を紹介する。

② But when Morgan showed up to demonstrate the mask, he got nowhere. “So he hired a white guy to go around the country and he’d say, ‘Hi, I’m Garrett Morgan,’ and the masks sold like hotcakes,” says Amram.

The joy of the “Eureka!” moment fades in the long struggle to turn an idea into a product. — *U.S. News & World Report*, February 11, 2002, p.67

この用例は科学技術に関する発明についての報道である。1941年、消防士用のガスマスクを発明し、特許を取った黒人発明家 Garrett Morgan は、全米を回ってもこの製品を売ることが出来なかった。そこで白人を雇いガスマスクの販売ツアーをさせると飛ぶように売れた、という黒人差別の時代の報道である。

このマスク発明の瞬間を the “Eureka!” moment と表現し、アルキメデスの感嘆の心情を再現している。

次の用例は、書籍のネット販売で知られるアマゾン社の創業者 Jeff Bezos についての記事である。1994年5月、当時30歳の彼はインターネットの将来性とそれによるビジネスチャンスに気づいた。その瞬間をこの表現を用いて表現しているのである。ここでは科学分野ではなく、ビジネスの分野での閃きの瞬間である。

③ If you had to pick a single eureka! moment, a time when suddenly everything became clear about what the future had in mind for Jeff Bezos, it was on a May day in 1994. The 30-year-old was sitting at the computer in his 39th-floor office in midtown Manhattan, exploring the still immature Internet, and he found a site that purported to measure Net usage. Bezos couldn’t believe it: the Internet was growing at a rate

of 2,300% a year. — *Time*, December 27, 1999-January 3, 2000, p.33

ここまで紹介した用例は、科学、経済などの領域にわたっているが、Eureka はいずれも、引用符や感嘆符やイタリック体を用い、アルキメデスの叫びを喚起させる響きをもっていた。しかし、以下に見るように普通名詞化している場合もある。

次例は連続殺人犯の捜査にあたった特捜部の報道である。容疑者の名前が特定されたに見えたが、2つ名前をもっていて、それ以上、捜査に決定的な進展がなかった。その状態を no eureka moment と言いつけている。つまり、真犯人を「見つけた！」という瞬間が来なかったことを伝えている。

④ That man’s name, it appeared, was John Muhammad. Investigators finally had a name; in fact, two names.

The task force was finally beginning to get somewhere. But there was no eureka moment, say investigators. — *Newsweek*, November 4, 2002, p.23

メディア英語の報道においては、eureka は「決定的な発見の瞬間」を意味する eureka moment という表現で定着しているようである。この際、感嘆符、感嘆詞、イタリック体などを伴い、アルキメデスの発見の感動を連想させている。

iii メディア英語に現れたその他の Eureka

メディア英語で Eureka は、eureka moment という表現で現れるのが圧倒的に多い。しかし、eureka は他の名詞の前にも現れることがある。

次の用例は、大西洋沿岸で墜落したアメリカのトランスワールド航空(TWA)800便の機体回収作業についての報道である。

⑤ James Kallstrom, who heads the huge FBI team investigating the criminal possibilities in the disaster, told NEWSWEEK that no fragment found so far is the “Eureka piece” that would establish—firmly enough to stand up in court someday—what actually destroyed Flight 800. — *Newsweek*, September 2, 1996, p.44

捜査に携わっているFBIの巨大チームは、その事故の犯罪性を調査するために機体の断片を回収する

作業をした。しかし、これまでのところ見つからない、墜落の真相を特定できる断片を、“Eureka piece”(原因がわかったとする断片)と表現している。

次例は、心臓外科についての記事である。

⑥ The heart may be fickle, but the science of keeping it healthy can be even more so. Every year experts come up with new insights into how to keep the cardiac system ticking. Sometimes the eurekas are justified, sometimes not. — *Time*, November 24, 1997, p.52

心臓外科医は、毎年、心機能を維持する方策を考えてきている。その際の新発見をthe eurekaと表し、完全に普通名詞として用いている。そのためこの用例では、アルキメデスの感動は薄れている。

iv 現代人気小説に現れた Eureka

Eureka はメディア英語に頻繁に現れる傾向があるが、小説においても現れる。この場合、小説の登場人物の発言として引用符の中で見られることがほとんどである。そのような例を紹介する。

次の用例はスパイ小説の一場面、過去の事件を記した書類を捜して、「該当のページを発見したときの叫び」を表している。

⑦ It was in the middle of Sunday afternoon that they found it. Anthony Cadbury was nearing the end of the box-file labelled November-December 1947 of the set that contained his own despatches. He suddenly shouted ‘Eureka’, eased back the spring-clip and took out a single sheet of paper, long since faded, typewritten and headed ‘23rd December 1947.’ — Frederick Forsyth, *The Odessa File*, Corgi Books 1973, p.133

次の用例は、引用符を伴わず、説明文として用いられている。

⑧ I mean, I remember once searching the home of a murderer, and within ten minutes I had a grip on the guy. Sometimes it’s a small thing like a record album collection, or paintings of cats on the walls, or dirty underwear on the floor. Sometimes it’s the books on the shelves or the lack of them, a

photo album, or, eureka, a diary. But here, in this place, so far, I felt I had mistakenly broken into the realtor’s model unit. — Nelson DeMille, *The General’s Daughter*, Warner Books 1993, p.43

これは殺人事件捜査のために、目星を付けたある不動産業者の住宅に侵入したが見当違いの家であったという場面である。通常は、レコードのコレクション、壁に掛かっている絵画、床の上の汚れた下着、書棚の本などのような小さなものが証拠物件となると述べ、場合により「見つけた!日記にあった」ということもあると説明している。

2. ゲーム言葉に由来する Bingo

Bingoは、上記の同ロングマン辞典によると、1. A game played for money or prizes, in which numbers chosen by chance are called out and players cross out these numbers if they appear on their own cards. The first player to cross out all the numbers on his or her card shouts out “Bingo!” or “House!” 2. *Infml* (an expression of pleasure at a sudden successful result) とあり、「ビンゴゲーム」と「突然の成功であげる喜びの掛け声」という2つの意味を紹介している。また、ランダムハウス米俗語辞典(*Historical Dictionary of American Slang: Volume I*, New York: Random House, 1994)によると, *interj.* (used to express excitement, surprise, etc., or the sound of a blow) とあり、OEDよりの1927年の例を示している。

ゲームに由来する感嘆詞Bingoも、Eurekaと同じような意味で現代英語に現れる。本章では、メディア英語と現代人気小説よりの用例を通して、この感嘆詞のもつ意味合いを検討する。

i メディア英語に現れた Bingo

メディア英語では、Bingoはニュース報道という性格上、引用符を伴って現れることは限られている。それが用いられるのは、報道文の地の文の中で多少とも記者が感情を込める場合である。

① Having used some modest spending cuts to offset his proposed tax reductions, President Clinton’s budget for fiscal ’96 and

for each of the following four years allows the deficit to settle in at about \$200 billion a year. Bingo! Another \$1 trillion would be added to our national debt by the year 2000. — *U.S. News & World Report*, March 6, 1995, p.106

この報道は、クリントン大統領による1996年度以降、4年間の財政計画についてである。それは提示した減税策に対し、歳出削減が慎ましすぎるため、年間約2000億ドルの赤字になり、このままていくと Bingo!(思った通りだ!)、2000年末までには1兆ドルの赤字となると述べている。

これは地の文でありながら感嘆符を伴い、感情的に読者に語りかけるスタイルとなっている。しかし、感嘆符を伴わない Bingo がより一般的に現れる。それらを紹介する。

次の用例は、FBIのPhilip Hanssenが二重スパイであったことを突き止めた経緯を伝えている。ある情報提供者がもたらした生ごみ袋から採取した2つの指紋は、ある連邦捜査局員の指紋と照合すると、Bingo(やった)、彼のものと一致して二重スパイとしての活動が立証されたのである。

② One informer came in with a priceless item—a piece of a black plastic garbage bag. From that scrap, FBI lab experts lifted two latent fingerprints and ran them against every set in the agency’s personnel file. Bingo: they matched two on the 10-print card filed in the name of Robert Philip Hanssen. — *Time*, March 5, 2001, p.33

次の用例も旧ソ連時代の諜報組織 KGB が、いかにして外国人学生をスパイとして勧誘したかについての報道である。KGBはロシアの国立大学での若い写真が趣味のイギリス人交換学生を、地方空軍基地への写真撮影旅行に招待した。そこで、Bingo(やった)、彼が軍事基地を写真にとった瞬間、スパイ活動をしたという重罪で即座に逮捕したのである。

③ Knowing he was a military buff, they then tried seducing him with some nifty hardware. Again, no luck. Finally they offered a photo-taking trip to the local Air Force base. Bingo. They promptly arrested the young man and told him spying was a capital

offense—a fate he could avoid by working with the KGB. — *Newsweek*, November 24, 2003, p.29

一般的に、ニュース報道は事実を伝えるという目的であるため、主観や感情を排除したスタイルをとる。しかし、感嘆詞 Bingo は、その硬い文体を和らげる口語調を与え、メディア英語にリズム感を与え、読者に親しみを感じさせる効果を出している。

ii 現代人気小説に頻繁に用いられる Bingo

現代人気小説は、必然的に登場人物のせりふが多いため、日常の会話で用いられている通りに Bingo が現れている。以下で、会話体として用いられている用例をいくつか紹介する。

次の用例は、あるスイスのポルノ雑誌出版社の親会社である、ソルトレークにある出版社 NorthLight を調査している場面である。

④ Kat felt suddenly off balance. How many major publishing empires were headquartered in Salt Lake? “What’s the name, Roger?”

“NorthLight Publications. And guess who owns NorthLight?”

“Bill North?”

“Bingo.” — John J. Nance, *The Last Hostage*, Pan Books 1999, p.517

この会社の経営者は、Bingo(思った通り)、Bill North という人物であったことを伝えているのである。

次例は、父が医薬会社の会長であるドラ息子の子の Kit は、新開発されたウイルスを盗む手助けをするため、父 Stanley のスーツから機密研究室「ウイルスラボ the Kremlin」に入れるカード鍵を探す場面である。内ポケットの財布から目的のスマート・カードを見つけた瞬間、思わずつぶやいた Bingo(あつたぜ) である。

⑤ He opened the door of his father’s suit cupboard. There on a hanger was the jacket of the suit Stanley was wearing today. Kit reached into the inside pocket and drew out a large black leather wallet, old and worn. It contained a small wad of banknotes and a row of plastic cards. One was a smart card for the Kremlin.

“Bingo,” Kit said softly. — Ken Follett,

Whiteout, A Signet Book 2005, p.155

次例では、死刑囚Samの青年弁護士Adamの、地方検事McAllisterへの発言である。サムが死刑執行前に、一言かばっている真犯人の名前を出せば、bingo (やった)、検事が書類にサインすればサムの命が救われるのではないかと主張している。

⑥ ‘So, one word from Sam, just one name thrown out here in the final hours, and, bingo you take your pen and save his life?’ — John Grisham, *The Chamber*, Arrow 1994, p.529

ここでは会話文の中であるが、bingoは感嘆詞としてではなく説明的に用いられている。以下の例では、会話文ではない地の説明文の中で現れている。

⑦ I looked at my watch, then looked again. I couldn’t believe only five minutes had passed. I lifted the bottom desk drawer onto my lap. Bingo! A note from Jessica, dated May 14. — Susan Isaacs, *After All These Years*, Harper Paperbacks 1994, p.252

ここでは探していたあるものを見つけたときの感嘆詞である。この小説の主人公の女性Joanが、友人Jessicaのメモを机の引き出しから探し出したときの心境である。心の中でBingo!(あったわ)とつぶやいているのである。

次の用例は、失神した知り合いの女性Geraldineを介抱する場面である。

⑧ I pulled open a corner door and found a shelf of cleaning supplies. Bleach, furniture polish, bingo—household ammonia! I dashed back to the living room, poured some onto a towel, held it under Geraldine’s nose. She sneezed and twisted her head away from the smell. Her eyes fluttered open. — Sara Paretsky, *Blacklist*, A Signet Book 2003, pp.426-27

主人公は彼女の意識を戻すために、何か役立つものはないかと戸棚を探すのである。すると、bingo (あった)、家庭用アンモニアを見つけ、気つけ薬として用い、彼女の意識を回復させたのである。

感嘆詞Bingoは、広く現代英語で現れるが、特に現代人気小説で多く見られる。ほとんどの場合、小説の中での登場人物の会話で用いられることが多い。つまり、これは口語体にふさわしい意味的な軽さの

ためであるように思える。

3. まとめ

辞書の記述から総合すると、Eurekaはアルキメデスの原理発見の叫びから、Bingoはビンゴゲームの掛け声から、各々由来していることがわかる。これらがどのような状況で用いられ、どのような意味合いの差があるのかを、用例に従い検討した。

本稿で両者の用例を比較検討した結果、Eurekaは、「探していたもの、追求していたものを偶然見つけた際に発する言葉」のようである。一方、Bingoは、「ある事柄を推測していて、その予想が当たり、それを見つけたときに発する言葉」と言える。前者は、引用符を伴う感嘆詞だけでなく、eureka momentなどのように名詞を伴う説明語としても現れる。後者は引用符を伴う感嘆詞として用いられることが普通であるが、説明的に現れることも多いことがわかった。

筆者のアメリカ人の友人2人の意見を紹介する。1つは、「両者には用法上の違いはないが、Eurekaは徐々に使われなくなりつつあり、現在ではゲームより由来するBingoがより一般的である(ワシントン州立大学卒、社会学博士、60代女性)」である。もう1つは、「Eurekaは現在では文学用語である、一方、Bingoは実際には日常語ではないけれども、多少とも前者より一般的である。前者は何かある長期的な目標をついに成就したという暗示的な意味を含む、一方、後者は多少とも突然ないしは幸運な出来事をより連想させる(MIT卒、元ボーイング社技師、70代男性)」である。

ここで紹介した各々の用例と、上の2人の指摘を総合すると、Eurekaは「ずっと追い求めていたことを偶然見つけた」という意味をもち、重い意味合いを伴う場合に現れているようだ。一方、Bingoは「予期していて運よく見つけた」という軽い意味を持ち、会話体で好んで用いられるようである。さらに前者は文語的であり後者は口語的であることは確かなようだ。これらの意味合いの差や用いられる状況の違いを除けば、感嘆詞Eureka!とBingo!の間にはさほど大きな意味の相違はないようである。

(兵庫県立星陵高等学校教諭)